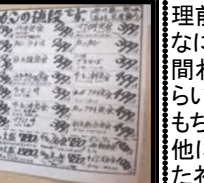


【みゆきちゃん定食】
札幌市北区北20条
西6丁目1-23
Tel.011-756-3410



もうそろそろ四捨五入すれば世間で流行っているアフォー。あれがうまいだのどがうまいだの、齢を重ねる毎に舌が肥えていくのが普通。しかし、アフォーではない正真正銘の40歳を迎えた当社名物人間油圧リフトと共に、いまだ「質より量」を突き進んでいるそんな仲間を送りたい。そんなお店に今回出会ってしまいました。昨年の11月、帰宅の車の中。とんねるずの番組でお馴染みの「キタナシユ」が放送されておりまして。札幌のお店「みゆきちゃん定食」。今年5回目の車検を乗り越えた愛車の小さなホロボロには、なにやら大騒ぎしている二人の姿が映っているやらないやら。海鮮丼を食べているらしいが画面で確認することは出来ない。が、妙に盛り上がり。彼らの言葉を借りると海鮮丼が「扇風機」のよう…らしい。これは是非にと思っていたから約半年。行動力に欠ける私W.件のお店をふと思いつき、行ってまいりました。店の外観はテレビの紹介どおり。隣接するお店が可哀相になるくらい。の装い。勇気を持って踏み出さないとなかなか入れないお店であることは間違いない。店内もさすがの佇まい。そして、びっくりするのはメニューの多さ。今回は「海鮮丼定食」と決まっていたから良かったものの優柔不断な普段の私には酷な仕打ち。卵かけご飯から始まるメニューは焼き魚定食290円、カレーライス290円と何を頼んでも良いやら、

何が出来るのか不安になる。定食屋のはずが、すき焼き食べ放題まで飛び出す始末。興味深い…。待っている間もメニューを見ていれば飽きる事は無い。が、とにかく寒い。温かいお茶さえ出さず震えている私の前へ運ばれてきた海鮮丼。込み上げる笑いを抑えるのに必死になってしまいました。ネタがドブブリ、いやいや、もはやドブブリでは無いデカイ器からはみ出して「ひまわり」のようになっている。いつものケで「大盛り」なんて何の気なしに言ったことに後悔。ここが大学の近く、学生御用達である事すっかり忘れていました。小鉢が何個も並び、海鮮丼を取り除いてご飯茶碗と交代させれば新たな定食完成というボリューム。まあやっつけるしか無いわけで…。いつも食事はスロ～な自分が更に時間を掛けて平らげる。しかし、やっとなり越えた試練のため息をつく暇も無いまま次の試練が…。今回同伴の彼女は半分も手を付けずに遠くを見ている。もう食べる意思は無いようだ。「茶碗にご飯粒を残したらお百姓さんに怒られる」との婆ちゃんの遺言に従いバトル再開。ワフワフになりながらお店を後にするも休日の残りはもうホロボロ。やはりくる歳には勝てず「量より質」に方向転換を誓う。なにはともあれ「みゆきちゃん定食」。美味しさまあまあ、このボリュームとお値段にあっばれ。全てを総合すれば三ツ星も納得。是非一度、実物をご覧ください。



痔マニュアル 先月4月号で取り上げた「痔」の話の続きをお伝えします。少数ですが興味を持たれた方や心当りのある方がいたと思われるので参考までどうぞ…。4月某日、私(H)がおこなってきたオペはゾオン(ALTA)注という療法で痔核(痔)に注射剤を投与して流れ込む血液の量を減らし、痔核を硬く縮小して粘膜に癒着・固定させるという治療法です。痛みや出血がほとんどなく注射直後から痔核の脱出がなくなります。注射後は2時間ほど安静にして薬を十分に浸透させる必要がありますがその後は日帰りができます。結さつ切除術にくらべて患者の負担が少なく効果も同程度なので今注目されている療法です。ところで、「痔」にはどんな種類があるのか?基本的な知識として「痔」は大きく分けて「痔核」・「痔ろう」・「裂肛」の3タイプがあります。「痔核」はいきみの繰り返し、便秘、下痢等で肛門に負担がかかりうっ血してクッション部分が大きくなるために起こり、更に大きくなると肛門から脱出するようになります。また、排便時に出血を伴います。痔全体の半分以上を占めています。「痔ろう」は男性に多い痔で肛門から細菌が入りこんで肛門線が化膿し、その炎症が肛門周囲に広がって膿瘍になります。これが自然に破れるか切開することで膿が排泄される現象です。ストレスやアルコールの摂取などによる下痢が原因だと言われています。「裂肛」は20～40代の女性に特に多い痔です。硬い便の排泄や勢い良く出る下痢等によって肛門の皮膚が切れてしまい、出血と痛みがみられ排便後もしばらく痛みが続きます。慢性化すると潰瘍になり肛門が狭くなってしまうことがあります。以上、これらを防ぐためには規則正しい排便習慣を身につけ便意があったら我慢せずに出す!ただし踏んばりはNG。ソフトに出しましょう。排便後は肛門を洗浄して清潔に。そして食物繊維・水分をしっかり摂り排便をうながす。朝食は必ず取るようにして下さい。また、アルコール、香辛料等の刺激物は肛門を刺激して痔を悪化させるので控えて下さい。その他、下痢やうっ血を防ぐため適度な運動をしたり毎日風呂に入ったりも重要です。皆さんも痔にならないために日頃のライフスタイルをもう一度見直してみてください。日本人の3人に1人は痔であると言われるほど非常に身近な病気なのです。私(H)も毎日肛門に気を使いながら痔にやさしい生活を送っております。以上、痔主の御方はお大事に(H)



「サビとる」(若井産業) (第5回紙上モニター)

本格的な春到来。車やバイクを趣味にしている者にとっては待ちに待ったシーズン。愛車をガレージやら納屋から引っ張り出して整備に追われている方も多い筈。私も最近の休日は趣味の旧車の整備に時間を割かれる事が多いです。そんな私のマイ工具箱の中の万年1軍レギュラーツールをご紹介します。一部から熱烈な支持を得ている弊社の隠れたヒット商品…「サビとる」(若井産業)。旧車整備は錆との闘い。生産から40年以上経った個体は車種に限らず錆だらけ。部品交換も仮ならぬ箇所は除錆して再使用する



「サビとる」の発生した部分にスプレーして放置。足りない場合はさらにスプレーして放置。→



錆はペーパーサンダーを駆使しますが、それにも及ばない軽度の錆にまでそこまでの労力とお金を費やさせません。その癖放つとくと進行して手に負えなくなるのでケしない訳にはいきません。そこで真価を発揮するのがこの「サビとる」。

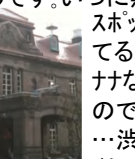
「サビとる」を塗布した処理後の部分と処理前の部分でこんなに違いが。この間わずか15分。もらい錆の除去にももちろん使えます。他にも錆に侵されたネジの再ダイス加工、再タップ加工の際に切削油と混ぜて使うと綺麗に仕上がりがさらに効果的です。→



「サビとる」の使い方はシンプル。錆にスプレーしてしばらく放置。後に水洗い綺麗に拭き取るだけ。画像をご覧ください。使用頻度の低いサビビスパナもこの通り。スプレーして待っている間に錆が紫色に変色して独特の臭気を発生、一瞬不安が頭をよぎりますがご安心を。5分後には綺麗に錆が無くなってます。研磨作業にかかる時間と費用を省き、愛車・大事にされている工具を簡単にケアする事ができるのです。工具箱に常備すれば錆との付き合いも楽しくなる筈です。弊社常備在庫品です。お気軽に御用命下さい。(T)

北海道一早い桜の招待(正体)

も立ってもしられなくなる性分です。4月ともなると桜の便りを探しに放浪してしまいうのです。いつに無く我慢できず何気なく調べると札幌市内にも隠れた桜スポットは多く存在する事をいまさら知りましたが、ようやく函館で咲こうとしてこの時期(4/29現在)にいくら思いを馳せても早くは咲きません…が!!…ナなんと、札幌市内に知る人ぞ知る北海道一早く咲く桜の木があるのでその真相を確かめに行きまして。その場所とは…「札幌資料館」…洗い場所にあります。生粋の札幌っ子である私もその存在を初めて知るくらい地味な施設。裏手の庭の桜の木はどれもまだ蕾。ほんとに此処に時知らずの桜は存在するのか?そう思ったその瞬間私の目に飛び込んできたのは…そうパラパラではあるが確かに花を咲かせた桜の木が…しかしナゼ此処だけ…その答えはこの木の下にある地下鉄からの大きな排気口、この排気口から絶妙な温度の空気が排出されるため、それを狙って植樹したのか、はたまたこの木の存在を知らずにこの場所に排気口を設けたのか、とにかく奇跡とも言えるような環境がこの桜を北海道一早く咲かせているのです。もしGW中に見ごろを迎えられなかった際には一興かと思えます。(T)



↑札幌資料館。知らない人も多い地味な施設教育文化会館の向かいにあります。

森忠新聞

5月号 (第40号)
平成23年5月2日(月)
発行元: 株式会社 森忠
札幌市白石区
北郷3-2-1-3
Tel.011-876-1133
FAX011-876-1144



↑当日携帯のカメラでどうにもならないくらい高所だったので友人から一眼レフを拝借。この1枚のために格闘すること30分ようやっとの1枚